

平成28年度

第3回滝川市地域包括支援センター運営協議会

日 時 平成28年11月10日（木）

午後6時00分から

場 所 滝川市役所5階 庁議室

次 第

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 議 事

（1）平成28年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告
について

（2）平成27年度高齢者実態調査結果報告について

（3）平成28年4月～9月認知症初期集中支援チーム活動報告
について

4. そ の 他

5. 閉 会

平成28年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告

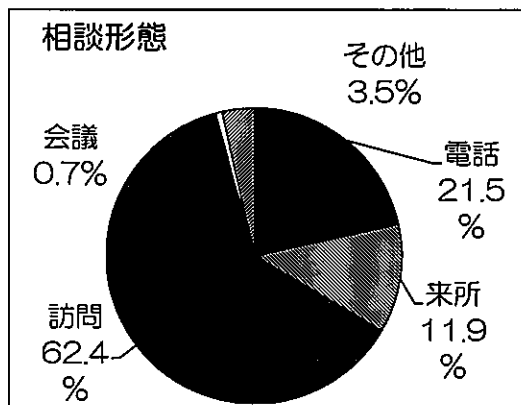
1. 総合相談支援

高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活を継続できるよう介護サービスにとどまらない、保健医療福祉の機関又は制度の利用につなげる等の総合的な支援を行った。

(1) 相談件数（単位：件）

28年度前期	1,026
27年度前期	1,147

(2) 相談形態



相談形態（単位：件）

	電話	来所	訪問	会議	その他	合計
28年度前期	221	122	640	7	36	1,026
27年度前期	247	138	696	11	55	1,147

相談件数、相談形態ともほぼ前年度並みである。

(3) 相談者区分（単位：件）

	本人	家族	民生委員等	地域団体	医療機関	警察	実態把握	その他	計
28年度前期	151	162	46	120	59	9	467	12	1,026
27年度前期	200	172	28	127	47	13	548	12	1,147

(4) 相談内容区分（重複あり）（単位：件）

	介護日常生活相談	医療に関する相談	権利擁護相談	実態把握	介護予防事業	苦情相談	SOS関連	その他	計
28年度前期	506	76	19	450	6	1	1	120	1,179
27年度前期	579	85	21	480	15	0	2	126	1,308

(5) 対応内容区分（重複あり）（単位：件）

	相談・情報提供	ケース会議	連絡調整	家庭訪問	申請代行	SOS関連	調査訪問	その他	計
28年度前期	565	11	396	129	36	0	444	31	1,612
27年度前期	437	32	200	135	65	0	470	19	1,358

2. 介護予防ケアマネジメント事業

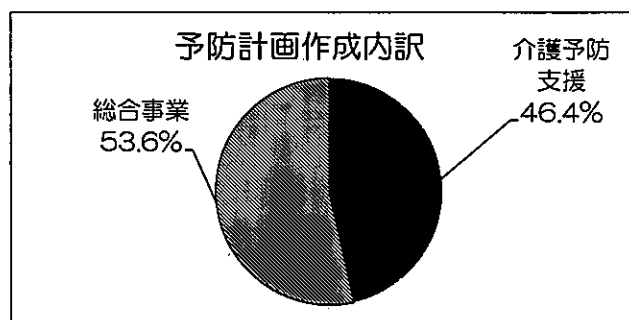
要支援1・2、事業対象者がより自立した生活を送れるために、適切な介護予防サービス等が提供されるよう、予防サービス計画を作成した。

(1) 予防計画作成実績（単位：件）

	包括	委託	合計
28年度前期	2,711	18	2,729
27年度前期	2,482	102	2,584

再掲（予防計画作成内訳）（単位：件）

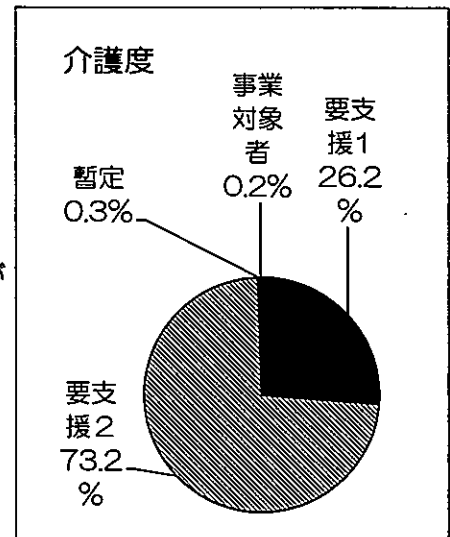
	包括	委託	合計
介護予防支援	1,253	14	1,267
総合事業	1,458	4	1,462



(2) 介護度 (単位: 人)

	要支援1	要支援2	暫定	事業対象者	合計
28年度前期	759	2,119	10	6	2,894
27年度前期	753	1,999	42		2,794

介護予防・日常生活支援総合事業への移行に伴い、要支援の認定がなくても、サービスが必要と判断される場合、要支援1相当のサービスが利用できる。滝川市では、要支援1の認定がある人の中で、状態が安定している場合等に、基本チェックリストの結果で事業対象者としてサービス利用している。



(3) 担当者会議開催数 (単位: 回)

28年度前期	462
27年度前期	455

3. 介護予防・日常生活支援総合事業

温泉教室 (通所型サービスA)

虚弱状態・要支援の認定を持つ人に対し、閉じこもり・うつ予防や心身機能向上のため、週1回の外出の機会を作り、運動機能向上・栄養改善・口腔機能向上・人との交流を図る。

温泉教室参加者数 (単位: 回・人・人)

	開催回数	実人数	延人数
28年度前期	60	63	942
27年度前期	54	62	931

新規通所者内訳 (単位: 人)

	本人から	家族から	知人・近所から	関係機関から	実態調査	特定健診	計
人数	2	2	0	2	2	0	8

4. 包括的・継続的マネジメント事業

地域の介護支援専門員の指導や支援のほか、高齢者が住みやすい地域にするため、関係機関とのネットワークづくりを行った。

(1) ケアマネジャーの相談窓口

相談件数 (単位: 件)

28年度前期	27
27年度前期	26

(2) 関係機関ネットワーク会議

在宅・施設・医療等の関係機関に呼びかけ、相談員・介護支援専門員が参加。偶数月の水曜日に定例で情報交換を行う。今年度前期は計3回実施。

(3) 地域ケア会議

地域の個別事例を通して、地域課題を見つけ解決へつなげるための地域ケア会議を月1回を目途に6回開催。

(4) 在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療と介護の連携に関する地域の課題を抽出し、その対応策を検討することを目的に、市内の医療・介護に関する関係者が集まる推進会議を立ち上げた。事例検討を通じて、課題の共通認識を進めている。7月・9月 2回開催。

5.認知症対策関連事業

(1)物忘れ相談プログラムによる認知症チェック

物忘れ相談プログラムを活用し、物忘れの自己チェックや認知症に関する知識の普及啓発を図る。

物忘れ相談プログラム実施数（単位：回・人）

	地域体操教室・町内会		老人クラブ		認知症カフェ		図書館ロビー (市民ロビー)		保健センター・ 市立病院		合計	
	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数	回数	実施数
28年度前期	2	21	2	12	2	6	1	8	3	87	10	134
27年度前期	3	40	10	98	2	17	1	41			16	196

(2)物忘れ相談

物忘れが気になる方や病院へ行くほどではないと思っている方などに、予約制の個別相談を実施。物忘れ相談プログラムのより詳しいプログラムを実施。必要時、受診勧奨等行う。5月より月1回の物忘れ相談を実施。前期で5回14人が利用。

(3)認知症予防講座

・認知症予防講座Ⅰ・Ⅱ

認知症予防のために日常生活での注意点や脳活性化につながる運動実技を学ぶ。

2回目の講座では学んだ実技をさらに深め、参加者の中から市内老人クラブで行う認知症予防出前講座での運動指導の協力をお願いする。

講師：3日体操インストラクター 佐藤 ひとみ氏

第1回 44人参加 第2回 26人参加

・認知症予防出前講座

認知症予防講座で学んだ脳活性化体操を老人クラブの例会で行う。

認知症予防講座の受講者のうち7名が運動実技指導に参加。

前期で18クラブ 268人参加。

(4)認知症カフェの開催

認知症の人やその家族、地域住民、専門職が、気軽に集まり認知症や介護について意見交換できる「認知症カフェ」を開催。市内のグループホーム、サービス付き高齢者向け住宅と家族会で月1回開催。

認知症カフェ参加数（単位：回・人・人）

28年度前期	ともだちカフェ								
	回数	本人	家族	地域住民	オレンジ 倶楽部	専門職	職員	その他	合計
	6	101	0	59	0	9	27	6	202
	カフェあけぼの								
	回数	本人	家族	地域住民	オレンジ 倶楽部	専門職	職員	その他	合計
	6	107	14	22	6	29	19	99	296
	にんかふえ								
	回数	本人	家族	地域住民	オレンジ 倶楽部	専門職	職員	その他	合計
	6	62	11	61	0	18	27	72	251

(5) 認知症啓発月間活動

9月21日の世界アルツハイマーデーに合わせて、9月を認知症啓発月間と位置付け、各種事業を展開。

- ・認知症講演会

認知症の人の食べることについての困難さを理解し、見守り、介助の方法を学んだ。
テーマ「認知症の人のおいしく豊かな食事に向けて」

講師：北海道医療大学看護福祉学部 教授 山田 律子氏 76人参加

- ・物忘れ予防料理教室

認知症の人とその家族が、クッキー作りを通して頭と体を使うとともに、認知症家族会会員等、地域住民との交流を図った。

講師：健康づくり課栄養士 白石 美幸

12人参加

- ・図書カフェ

認知症カフェ「カフェあけぼの」を運営する、「滝川地区認知症の人と共に歩む家族の会（あけぼの会）」が出張カフェとして図書館ロビーでカフェを開催。

手作りクッキーと飲み物を販売。飲み物を飲みながら介護の方法や認知症についての相談を実施。

62人参加

- ・高齢者向け紙芝居上演会

認知症の人や閉じこもりがちな高齢者の地域交流の機会として、市立図書館が上演する紙芝居を鑑賞。

35人参加

(6) 認知症サポーター養成講座

認知症について、研修を修了したキャラバン・メイトが、認知症についての理解と地域での見守り支援の普及啓発の為、認知症サポーター養成講座を実施。

地域の会場では、物忘れ相談プログラムと組み合わせて実施。

見守りネットワーク関係団体に案内を送付した他、各種団体の依頼に応じ実施。

今年度前期で、13回開催、計286人が参加。

(7) オレンジ倶楽部

認知症サポーター養成講座を受講した人達の中で、実際に何かの活動をしたいと思う人達を募り、研修・懇談を行う他、「オレンジ通信」を発行し、認知症の知識や認知症に関する活動を紹介。

6. その他の事業

(1) 家族介護者の支援

介護者のつどい

介護者を対象に研修や交流会を行った。第1回 6月17日 施設見学 24人参加

(2) 成年後見制度の申し立て支援

市長申立件数 2件

(3) SOSネットワークシステム

徘徊による行方不明者をすみやかに捜索・発見するためのネットワークの構築
現在の登録実人数は109人。うち、28年度新規登録者は25人。
今年度前期の捜索依頼は2件(市内1件、市外1件)

(4) 滝川市はいかい高齢者等位置探索システム助成事業

今年度前期で新規申請者なし。

(5) 高齢者虐待の相談支援 3件

3件とも虐待が認められ、うち2件は転居、もう1件は関係者が見守りながら経過観察中。

(6) 出前講座

市民や関係機関の依頼に応じて、高齢者福祉・介護予防等に関する講座を実施。

第1回 5月19日「介護保険制度の新しい流れ～総合事業への移行～」

滝川ロータリークラブ 60人

第2回 5月27日「認知症の予防について」地域カフェ絆 22人

第3回 6月24日「成年後見制度について」民生委員高齢者福祉部会 18人

(7) 北海道医療大学連携事業

・65歳大学

65歳以上の方が、健康維持や介護予防につとめ、一人一人の生きがいや自己実現のための取り組みを支援して生活の質の向上を目指す。作業療法の理論にもとづいたプログラムを講義・演習形式で実施。

65歳以上の市民を対象に、5月～12月まで全15回開催。

講師：北海道医療大学リハビリテーション学部教授 鎌田 樹寛氏

65歳大学実績（単位：回・人・人）

	回数	実人数	延人数
28年度前期	10	19	167
27年度前期	8	17	120

・コミュニティワーク実習

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営み、安心して住み続けられるまちづくりのための地域課題の抽出を行うことを目的に、教員と大学院生及び学部生が、高齢者42人に対し、インタビューを実施。実習期間 8月3～5日。

平成27年度 高齢者実態調査 結果報告

平成27年4月現在での75歳以上総人数
平成27年度調査実施地区の75歳以上総人数
《調査実施地区》

6,543人
2,071人

西町 江部乙町 幸町 東滝川・東滝川町

・市内の約31.6%の地区に調査を実施。

・今年度も世帯構成に関係なくH27年4月1日現在満75歳以上の人を対象に訪問調査を実施。

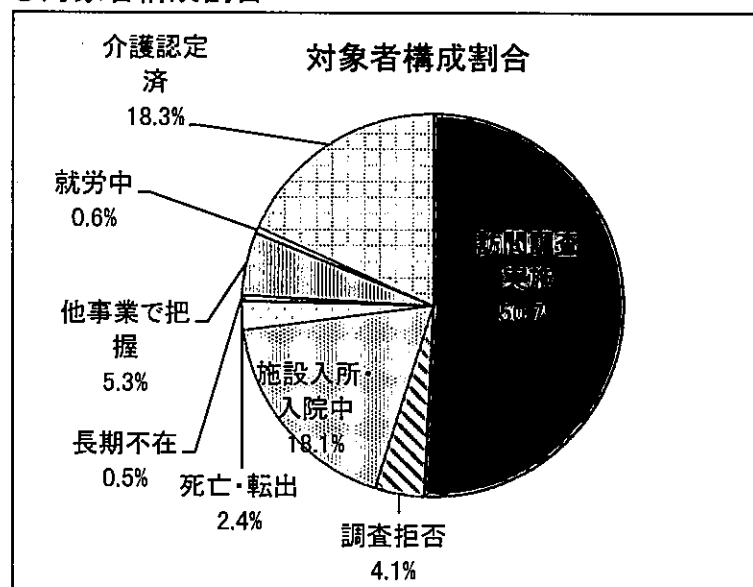
介護サービス利用や入院・施設入所が明らかな場合は訪問せず。

前回虚弱な状況の人(事業対象者)には訪問調査を実施した。

世帯構成

	人数	総世帯数	内訳		
			単身世帯	夫婦世帯	その他
西町	445	282	60	129	93
江部乙町	1,011	438	96	192	150
幸町	371	233	63	96	74
東滝川・東滝川町	244	192	29	55	108
合計	2,071	1,145	248	472	425

○対象者構成割合



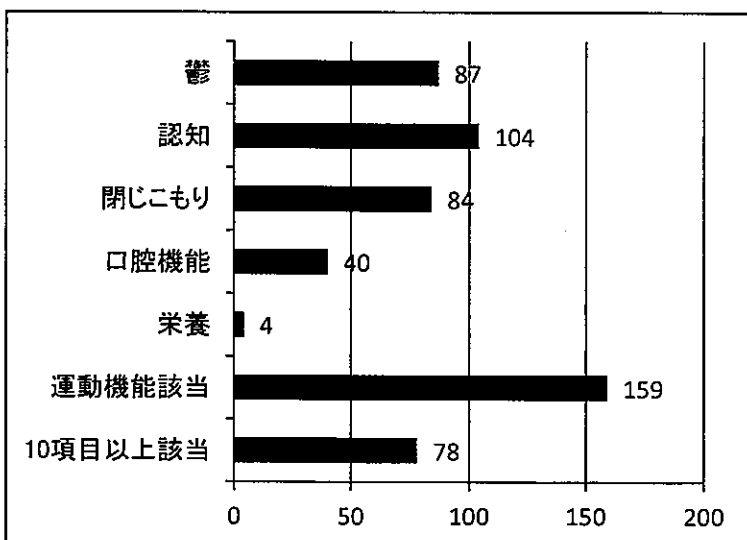
対象者構成割合(単位:人)

内訳	人数
訪問調査実施	1,051
調査拒否	85
施設入所・入院中	374
死亡・転出	50
長期不在	11
他事業で把握	109
就労中	12
介護認定済	379
総計	2,071

○事業対象者内訳

実数 164人

(調査実施者数の15.6%)



事業対象者内訳(単位:人)

内訳(重複あり)	人数
10項目以上該当	78
運動機能該当	159
栄養	4
口腔機能	40
閉じこもり	84
認知	104
鬱	87

運動機能該当者が高い。

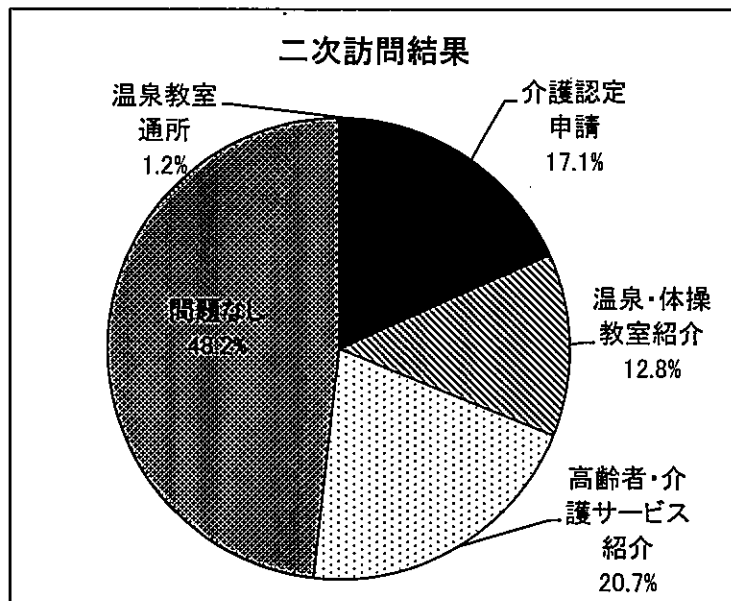
○事業対象者の発見率

(単位:人・人・%)

	調査実施数	事業対象者	発見割合
実態調査	1,051	164	15.6%

○二次訪問・電話

事業対象者に対し、介護予防事業(地域体操教室等)や温泉教室、介護・高齢者サービスの紹介や生活状況の確認のために地域包括支援センターの保健師が訪問・電話かけを実施。



訪問内訳(単位:人)

内訳	人数
訪問	101
電話	63
計	164

訪問結果(単位:人)

結果	人数
温泉教室通所	2
介護認定申請	28
温泉・体操教室紹介	21
高齢者・介護サービス紹介	34
問題なし	79
計	164

○まとめ

27年度も昨年度に引き続き、75歳以上の高齢者全てを調査対象としている。

事業対象者164人に訪問・電話を行い、必要時サービス調整等行っている。すぐに利用につながらなくとも、介護予防事業、高齢者サービス、相談窓口の紹介の場となっており、後で相談につながるケースもある。

平成22年より単身世帯から調査を始め、平成23・24年は高齢者のみ世帯、平成25年度より世帯に関係なく75歳以上全員を対象としている。対象者数が増えたため、おおよそ4年毎の調査になっているが、情報が蓄積されたことで、その後支援が必要な時にその情報が活かされている。

平成28年度の対象者も単身・同居に関わらず75歳以上の人として、介護サービスにつながっていない人やこれまで状況を把握していない人を中心に、訪問によるチェックリストの聞き取りを行っていき介護予防事業と相談窓口の紹介をしていく。

平成28年4月～9月 認知症初期集中支援チーム活動報告

1. チーム員会議の開催

会議実施数（単位：回・件）

	回数	検討事例数
28年度 前期	6	6

事例の状況

	年齢	性別	世帯構成	相談者	支援経過
4月	94歳	女性	独居	知人（お寺の住職）	脱水あり入院、その後特別養護老人ホーム入所
5月	80歳	女性	独居	中老センター相談員	精神神経科受診、検査受けるが認知症はなし
6月	86歳	男性	同居(娘)	娘	内科医院を受診し、高血圧の治療開始
7月	78歳	男性	同居(妻)	妻	妻の精神的支援を行う
8月	83歳	男性	同居(妻)	妻	かかりつけ医から精神科受診を勧めてもらい受診
9月	76歳	女性	同居(夫)	夫	長男と会い、受診の必要性を共通認識

・その他

エーザイ株式会社より認知症の予防についてのミニレクチャー（9月）

《医療受診について》

精神科を受診	3
内科を受診	1
すでに受診済	1
未受診	1

《支援結果》

支援終了	3
継続支援	3

2. 普及・啓発活動

（1）市内医療機関への周知

リーフレットを作成し、本事業の紹介と相談機関としての地域包括支援センターの紹介を兼ねて市内医療機関へ訪問。リーフレットを配付。

（2）一般市民への周知

認知症サポーター養成講座や老人クラブの認知症予防出前講座の際に、リーフレット配付。